

冬温し錦江湾を渡る船

／重信 祥太（東京都）

西郷の白刃じじん ほらの洞や寒椿

／岩本 正捷（大阪府）

冬麗ふゆうらら島津とのの殿の声したり

／長浜 保夫（和歌山県）

秋晴れや車窓にどっかり桜島

／勝 一恵（埼玉県）

髪なびきあなたの匂いで山笑ふ

／阿南 一勢（鹿児島県）

くよくよを木端微塵こっぱみじんに桜島

／峯島 妙 (大阪府)

恋してるあの子のみやげ芋焼酎

／小笹 友暉 (大阪府)

落ち着くな息子との旅桜島

／加藤 幸代 (東京都)

桜島はるばるここに男旅

／神津 圭祐 (広島県)

せごどんのゆかりの地だねインさつま

／黒木 花菜 (静岡県)

志士の夢乗せてうずまく断雲ちぎれぐも今日も変わらぬ桜島

／実延 大二郎（広島県）

鹿児島島の水面に浮かぶ桜島薩摩の歴史見守る姿

／伊藤 京介（福岡県）

見渡せばいつもどこかに桜島火山と生きる街のシンボル

／河北 みちる（神奈川県）

あおぎみる年の瀬の空桜島自分の悩みちっぽけなこと

／大塚 清尚（東京都）

コロナ禍の若葉萌え立つ城山に登り来たれど人影はなし

／尾立 隆男（鹿児島県）